

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	きのこの魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	明日はきのこを食べようプロジェクト協議会 中野市七瀬45番地1
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑥産業の振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,039,246円 (うち支援金: 1,586,000円)

事業内容

きのこの生産が盛んな地域であり、その魅力をさらに発信するための起爆剤となる事業。児童を対象とした食育を強化することで、若者のUIJにつながるような魅力的な産業と発展し、観光資源としての活用できる産業へと進化することを目的とする。

- ①小学校児童へのきのこ食育強化事業
工場見学の受け入れ、冊子や映像の教材配布
- ②幼稚園保育園へのきのこ食育強化事業
きのこ収穫ほぐし体験、オリジナル絵本教材配布
- ③郷土愛醸成&観光資源「日本一のきのこの里」周知活動
「キノコ BBQ パーリー」開催

事業効果

- ①中野市内小学校でのきのこ工場見学実施数の増加
令和3年 1校 →令和5年 5校
きのこの食育資料や映像資料を市内小学校に配布し、授業内で取り扱うことで、食育教育に寄与できた。
- ②中野市内幼稚園保育園でのきのこ食育実施数の増加
令和3年 0件 →令和5年 2校
食育を目的としたきのこの絵本を市内全保育施設に配布し、読み聞かせ実施
- ③「キノコ BBQ パーリー」来場者220名
令和4年開催より規模を大きくし、より多くの来場者にきのこの魅力を伝えることができた。

今後の取り組み

我々の活動に共感していただける学校、施設も増え、今後継続した取り組みをできる基盤できた。

- ①市内全小学校での食育事業の実施を目指す。計画ができるように年度前に学校と連携をとる。本年度実施ができなかった栽培キットの配布も行う。
- ②直接伺い事業説明を行うことでより理解を深め、実施施設を増やす計画。配布した絵本を継続的に読み聞かせしてもらえよう各施設と連携をとり進める。
- ③「キノコ BBQ パーリー」は消費拡大&観光誘致になるよう規模の大きな事業にブラッシュアップする必要がある。そのため協力企業や団体を募り大きな運営母体を作る必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【BBQ 親子調理ブース】

【目標・ねらい】

- ①地域産業を知り、誇りに思う、地元で働きたい
- ②心身ともに健康な児童の育成
- ③消費拡大

※自己評価 【 B 】

【理由】2年目の活動で認知度も高くなり、広く活動することができた。学校、保育施設からの要望に応えながら、今後継続した事業展開ができる基盤を整えることができた。購入したハードをもとに次年度以降も事業を継続します。